



# 木曽林務課だより

## 8月

長い梅雨がようやく明けた8月6日、木曽地域の小中学校の先生を対象とした森林・林業体験の学習会が開催されました。その様子をお届けします。

### 教職員森林・林業体験学習会：「史跡の森」で自然と歴史を学ぶ

7月は大雨が続き、木曽地域でも土砂災害・水害などが発生しました。被災された皆様が早く安心して元の暮らしが送れるように、心よりお祈り申し上げます。

標記研修会も、当初は上松町の赤沢自然休養林で予定されていましたが、アクセス道路が災害により通行止め※になったため、急遽木曽町福島の「城山史跡の森」・御料館で開催されました。

木曽義康が1556年に築城したといわれる山城跡を覆う森を巡り、ガイドの古幡和久さんの説明を聞き、木曽義仲や戦国大名が活躍した時代に思いを馳せていると、暑さが遠のいていくような気がして不思議です。林道脇の断層の露頭？では、地質に詳しい先生方のディスカッションが始まる一幕もありました。

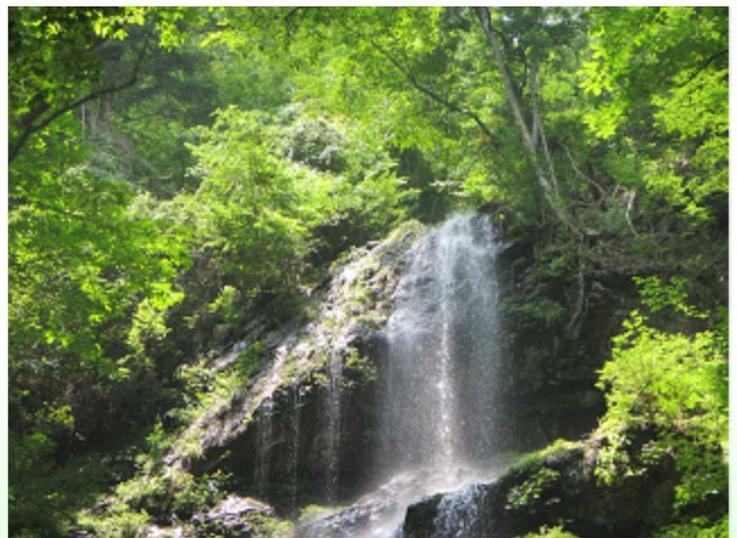
ひとしきり山を巡って、森の草木、そこに棲む生物の話聞いたあと、午後は木曽町有形文化財で一昨年日本森林学会の林業遺産にも認定された御料館（旧帝室林野局木曽支局庁舎）に戻り、明治～昭和初期に木曽の山林が御料林（皇室財産）であった経過や、中部森林管理局木曽森林ふれあいセンターの二村正博指導官の解説で、「木曽式伐木運材図会(きそしきばつぼくうんざいずえ)」を題材に、江戸時代の林業技術や木曽の林業の歴史を学びました。

非常に中身の濃い、盛りだくさんの一日でした。

※ 赤沢自然休養林は2020年8月11日より入園可能になっています。



古幡さんの説明に聞き入る先生方



木曽義仲が拳兵の際、沐浴をした権現滝